



缶サット体験会

8月24日、缶サット（超小型模擬人工衛星）体験会が潮岬青少年の家で開催され、県内に住む小学5年生から中学3年生までの生徒31人が参加しました。

本体験会は缶サットの製作体験を通して人工衛星についての理解を深め、宇宙の魅力を知ることが目的として開催されており、講師は、東京大学大学院教授の中須賀真一さんが務めました。

参加者は班ごとに分かれ、作成した缶サットで落下実験を行い改善するという作業を複数回繰り返し、落下時間や、着地時の自立、放出物の飛距離などの設定された目標を達成するため奮闘しました。

缶サット甲子園

9月7日から8日にかけて、町内で「缶サット甲子園2024」の和歌山地方大会が開催されました。

缶サット甲子園とは、高校生が自作したモデルロケットで、缶サットを打ち上げることで技術力・想像力を競う大会で、今回は県内外から11校が参加しました。

7日は潮岬望楼の芝で缶サットを打ち上げ、8日は旧古座分庁舎（Sora-Miru）のスペースシアターで事後プレゼン審査を実施。参加した生徒は、「缶サットがきれいに打ち上がって、無事ミッションを達成することができた」と成功をよろこびました。



スペースポート紀伊周辺地域協議会

9月12日、串本町役場でスペースポート紀伊周辺地域協議会の臨時総会が開かれ、会員に向け、カイロスロケット初号機の打ち上げ結果と、2号機に関する説明が行われました。

スペースワン（株）の阿部耕三執行役員は「初号機の打ち上げでは、打ち上げ前の予測よりも推力が低く、速度が不足していた為に自律飛行安全システムが稼働した。2号機に関しては、安全を確保しつつ、自律飛行安全システムの飛行正常範囲の設定を見直す」と説明しました。

2号機の打ち上げ日は、打ち上げの2か月前に発表されます。

打ち上げイベント等の詳細については、「カイロスロケット2号機打ち上げ応援サイト」より随時案内予定ですので、事前登録をお願いいたします。



2号機は
12月打ち上げ予定

【広告】 町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。